

## 第4回かぬまエコノミーティング記録

■開催日時：令和8年5月18日(月) 10時00分～11時55分

■開催場所：鹿沼72カントリークラブ

■ミーティングテーマ：第1部 「みんなで考え、みんなで楽しむ西北部地域の活性化」  
～つながる力で作る、かぬまの未来産業～  
第2部 「経済情勢について」

◆第1部 「みんなで考え、みんなで楽しむ西北部地域の活性化」  
～つながる力で作る、かぬまの未来産業～

視点	主な意見
連携	<ul style="list-style-type: none"><li>品質に変わりのない規格外品（B級品）を使用し、他業種と連携して新商品の開発に取り組む。</li><li>駆除した野生鳥獣を飲食関係者と連携し、ジビエ料理の普及に繋げる。</li><li>複数のイベントを連携し、内容を充実させ、個々のイベントの相乗効果による全体的な集客の拡大を図る。</li></ul>
プラス戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>西北部地域には多くのゴルフ場があり、来鹿したゴルファーにゴルフ以外の取組みを提案したい。</li><li>老朽化した体育施設を改修し、魅力ある施設にするとともに、スポーツに来た人にキャンプや宿泊などに繋げる取組みが考えられる。</li><li>イベントにスタンプラリーの要素を加え、リピーターの獲得を図る。</li></ul>
新たな事業展開	<ul style="list-style-type: none"><li>ゴルフ場をトレーニングの場として活用し、スポーツチームの合宿を誘致するなど、スポーツに関する取組みを通じて、来訪者の獲得を図る。</li><li>各地域には、それぞれ特色を持った「地域素材が」があり、それらをPRし、ビジネスチャンスの拡大を図る。</li><li>地区ごとに特色のPRとその特徴を活かしたまちづくりを進めていくべき。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>自然を活かしたイベントが多くあるが、交通の便が悪いのが課題。車社会で仕方がないが、電車で来た人を宿泊に繋げることも考慮すべき。</li><li>高速バスの発着場所が街なかから距離があり、移動が難しい。バスの発着所を駅周辺に移動して、周遊性の向上を図るべき。</li><li>鹿沼に帰って来た人への安心感をあたえられるような、灯が灯るシンボルの創設してはどうか。</li><li>高齢化が進み、移動の「足」の問題がある。首都圏から鹿沼に来る人のためにバスを出し、バスの発着所にその目的地の関係者が送迎するといった、新しい輸送形態が生まれると来訪者の獲得を図る。</li><li>コミュニティゴルフなど、世代を超えて楽しめるスポーツの普及に取り組み、競技人口と将来に渡る来訪者の増加を図る。</li></ul>

◆第2部 「経済情勢について」

～中東情勢による影響の現状とその対応策について～

	主な意見
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な業界で燃料価格、原材料費の高騰で厳しい業況にある。</li> <li>・新聞業界でも紙、インク、ビニールが値上げの対象となっている。</li> <li>・建築関係では、シンナーや塩ビ管、ユニットバス関係の資材が入荷しないという話を聞く。</li> <li>・品物の買い占めが心配。団体として在庫を確保し、対応している。</li> <li>・資材などの納品に以前よりも時間がかかるようになった。</li> <li>・物価高の影響で機械の更新が難しい状況になっている。</li> <li>・去年のトランプ関税と比べて、今回の中東情勢の問題の方が影響が大きくなると予想している。</li> <li>・短期的というより、中長期的に影響が出てくることが予想され、6月以降に様々な影響が出ることを懸念している。</li> </ul>
求める支援策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事が滞っても、仕入れた資材の支払いが生じるので資金繰りに対する支援</li> <li>・原油に頼らずにバイオマスを活用し、地域の木材をエネルギーに代えて、企業が利用するエコリサイクルの動きが出てくることを期待したい。</li> </ul>

《第4回かぬまエコノミーティングにおける市長総括》

- これまで3回のエコノミーティングを開催し、その成果として、第9次鹿沼市総合計画に意見交換した結果を盛り込むことができた。今後、「Made in 鹿沼」をまちづくりのキーワードとして、未来の鹿沼を市民の皆様と協働・共創でつくっていきたい。
- 合計画の施策展開の戦略ワードとして、取組みや地域資源を組み合わせる「鹿沼+（プラス）」がある。今回のミーティングでも、プラス事業のヒントになる様々なアイデア、提案があった。それぞれの団体で取組みに反映できるものがあれば、積極的に取組んでいただきたい。行政主導ではなく、民間主導の取組みを大事にしたい。
- 西北部地域の活性化を考えるうえで「ゴルフ」は欠かせないキーワード、総合計画でも「ゴルフのまち鹿沼」の推進として位置付けている。ミーティングでも、ゴルフ+（プラス）の視点から、具現化できるアイデアがあり、それぞれの取組みに期待したい。
- このエコノミーティングから提案された「合同入社式」は、開催に向け動き出している。そのような事業が今後も出てくることを期待したい。
- 中東情勢の不安定に伴う、経済情勢については、これまで情報共有の場を設けてきた。今後、国県に対して要望活動を行う際に参考とさせてもらう。併せて、支援に対する提案は、今後の対応を検討する際の参考となる意見であった。